



107

編集 知道会広報委員会
〒310-0011 水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内
発行人 江幡秀則
発行日 令和7年10月1日
通巻 第107号
HP www.chidokai.jp
メール chidokai_mito@chidokai.jp
*HPはカラー版がご覧になれます。



〈目次〉

令和7年「会員の集い」	1
一高だより	3
パブリックリーダースクール	5
地域・職域等知道会	6
第74期第54回代議員会	7

令和7年知道会会員の集いを開催します

知道会の財産は「人」。世代を超えて交流し、懐かしい話や情報交換など楽しい時間を過ごしましょう。代議員会では高校生の海外派遣報告もあります。多くの方のご参加をお待ちしております。

講演 「国際医療支援について(仮題)」

医師 日本赤十字社和歌山医療センター副部長 益田(旧姓山口) 充 (平6卒)

平時は国内で医師として勤務しつつ、定期的に海外の難民キャンプ等で活動するスタイルになってから、より日本のことも世界のことも、理解が深まってきたように感じています。そのような視点を紹介することで、これからの日本、これからの医療、これからの教育など、様々な分野でみなさまが未来を考えていくための、何らかのヒントにつながっていただければと思います。



能登半島地震被災者支援：状況厳しい被災地での、救護班メンバー打ち合わせ



パレスチナ難民支援活動：現地医師に超音波診療技術指導



パレスチナ難民支援活動：紛争対応訓練後の現地医療従事者との会合



能登半島地震被災者支援：避難所での健康状態アセスメント活動



パレスチナ難民支援活動：現地の救急ボランティアと紛争対応訓練



バングラデシュ避難民支援活動：難民である通訳と共に手術

知道会 令和7年会員の集い

期日 令和7年11月15日(土)
場所 水戸京成ホテル2階「瑠璃の間」
日程 12:20 受付開始
12:50～14:00 代議員会
14:05～14:25 海外派遣研修報告(参加生徒による)
14:30～15:20 講演会
「国際医療支援について(仮題)」
医師 日本赤十字社和歌山医療センター副部長
益田(旧姓山口) 充氏(平6卒)
15:40～17:15 懇親会
講談師 松林伯知氏(水戸二高卒。平成6年
茨城出身の女流講談師として初の真打に昇進)

参加費 5,000円

※事前の参加費振込が必要です。

この会報に同封されている振込用紙にて参加費をお振込みください。お振込みをもって、参加お申し込みとさせていただきます。

ただし卒業6年目＝令和2年3月卒業以降の会員は参加費は無料にしています。

●今回も無料の託児サービスを予定しています。
お申し込みなど詳細は知道会HPをご覧ください。

講演者よりメッセージ



益田(旧姓山口) 充

私は平成6年卒で、高校時代は潮来から通学し、硬式野球部で甲子園を目指しました。その流れで東大野球部でも神宮の星を目指し、卒業後は法学部卒の背景を生かして国際人道法／刑事法に関する研究や活動をしていました。そこでアフガニスタンで人道支援を行う中村哲医師の存在を知り、神戸大学医学部に再入学し、アジアやアフリカなどの様々な医療機関等で活動しました。

医師免許取得後は、平時は和歌山や熊本の病院にて、救急外科医／トラウマセラピストとして診療を行いつつ、国内災害時は常総水害、熊本地震、能登半島地震／洪水などの現場にて被災者支援に携わってきました。そして国際活動として、2018年にBangladesh 避難民支援活動に参加したあと、最近では2019年／2021年／2023年と3度にわたりパレ

スチナ難民支援活動（主にレバノン、ときおりガザ）をしています。

また、そのような国内外での経験を生かし、災害時にも医療通訳を適切に派遣するためのネットワーク（J-MIND）の代表もしています。最近では和歌山の高校の総合学習の臨時講師を始め、さまざまな大学や団体などでの国際理解のための講演も増えてきました。

なお本校関連では、西日本水一中高会の副会長として関西周辺の同窓生の交流のお手伝いをしたり、附属中学の関西訪問時や高校の社会人講演などで現役生とお話ししたりしています。その派生として、I-SALONという社会貢献サロンを主宰し、グローバル教育や各種社会課題への取り組みも行っています。

懇親会

会員の集い懇親会「講談」



講談師 松林伯知

水戸市三の丸出身の講談師・松林伯知さんの講談です。

基本の古典や歴史ものはもちろんのこと、水戸にまつわる講談から昭和歌謡、映画、ゲームまで、独自の視点で、笑いあり華ありの講談にしてしまう、松林伯知さんの講談をお楽しみください。

出演者プロフィール

水戸市三の丸出身。水戸二高卒。大学卒業後、落語・演芸誌の編集者を経て、平成21年に神田紅に入門。平成25年に二ツ目に昇進し、神田真紅の名で活躍。令和6年3月に日本講談協会にて真打昇進「三代目松林伯知」襲名。同年5月落語芸術協会にて真打昇進（茨城出身の女流講談師として史上初）。現水戸大使・水戸市ふるさと納税アンバサダー。

松林伯知 HP <https://hakuchi3.com>

【幹事学年 学年同窓会】会員の集い幹事学年が集い終了後に学年同窓会を開催します

平成6年卒 学年同窓会

平成6年卒の皆様、ご無沙汰しております。お元気でしょうか。もう御年50歳ですって。

そんな節目の年、学年同窓会を開催します。故郷水戸の地で集い、今を昔を、そして未来を語らいましょう。たくさんのご参加、お待ちしております。

またその日午後からの知道会会員の集いでは14時30分より益田(山口) 充くんによる講演会も行います。野球部のイタコくんだったっぺよ～。ぜひ、知道会会員の集いからのご参加もお願いいたします。

日時 令和7年11月15日(土)

18時30分～

場所 水戸京成ホテル

会費 8,000円

申込方法

QRコードを読み取り、11月4日(火)までに「調整さん」にてお申込みください。

お問い合わせ

saito_survey@ybb.ne.jp



平成16年卒 学年同窓会

40歳の節目の年を迎え、学年同窓会を開催します。この節目に、久しぶりに集まって楽しく語り合いましょう。お世話になった先生方もお招きする予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 令和7年11月15日(土)

18時30分から(受付18時から)

場所 水戸京成ホテル

会費 6,000円(当日受付にて)

※会員の集いから参加される方は4,000円

申込方法

QRコードを読み取り「調整さん」に入力して10月27日(月)までにお申し込みください。期限後に直前で参加可能になった方も、「調整さん」で回答のうえご来場ください。

お問い合わせ

h16chidoukai2025@gmail.com



平成26年卒 学年同窓会

卒業から早12年。30歳という節目の年を迎えました。

今年は久しぶりに学年同窓会を開催します！

懐かしい友人と再会し、思い出話や近況を語り合いながら、楽しい時間を過ごしましょう。

みなさまにお会いできるのを、幹事一同心より楽しみにしています！

日時 令和7年11月15日(土)

18時30分から

場所 水戸京成ホテル

会費 8,000円

※会員の集いから参加される方は、5,000円になります。

申込方法

QRコードを読み取り、10月29日(水)までにGoogleフォームにてお申込みください。

お問い合わせ

watahiki.haruo@blue.ibk.ed.jp



硬式野球部

第107回全国高等学校野球選手権茨城大会出場

本校硬式野球部は7月6日に、鉾田一高と対戦しました。同じ水戸地区の伝統校対決となり、ノーブルホームスタジアム水戸(水戸市民球場)の入場券売り場には長蛇の列ができるなど、試合前から熱気が漂っていました。試合では、序盤から再三チャンスをつくりますが、良い打球が正面を突いたり相手の好守備に阻まれたりなどでなかなか得点を奪えず、1対1のまま終盤を迎えます。そして8回裏に2点を勝ち越され、1対3で敗戦となりました。勝ち上がる自信をもって大会に臨んだ分、ショックの大きい結果となりましたが、この悔しさを1・2年生は野球で、3年生はこの先の人生で取り返せるように、捲土重来を期して頑張りたいと思います。



山岳部

インターハイ3年連続アベック出場

8月5日～9日に広島県安芸太田町においておこなわれた令和7年度全国高等学校総合体育大会登山大会に、山岳部が男子団体・女子団体部門で3年連続アベック出場をした。競技は、体力や歩行技術だけでなく、設営・炊事等も審査される。さらに、救急・気象・自然観察や地図読解の知識までも審査対象である。3日間の山行と開会式後のペーパーテストによって100点満点で点数付けが行われ順位が決まる。男子団体は、リーダー須摩雄三郎さん(2年)、岡本太一さん(3年)、杉山健太さん(2年)、加藤直秀さん(1年)の4名、女子はリーダー沼田悠花さん(2年)、黒田美唯さん(3年)、菊池千恵さん(3年)、大山ゆうさん(1年)の4名が出場した。大会は直前までは連日熱中症警戒アラートが出ていたものの、酷暑にはならず、本校山岳部チームは元気よく3日間の山

行を完遂できた。今大会は、2日目の夕方に翌日の悪天候予想のため体育館に緊急避難し、3日目の山行が大幅に変更されるというハプニングに見舞われた。成績は地元の高校が100点満点で優勝するハイレベルな争いで、男子は93.4点36位、女子は94.8点29位という結果に終わった。全国大会のハイレベルを改めて実感した結果であった。



放送部

第72回NHK杯全国高校放送コンテスト出場

7月21日～24日、アナウンス部門に3名が出場したほか、創作ラジオドラマ部門、校内放送研究発表部門に出場しました。初めて参加する部門もあり緊張感のある大会でした。今回経験したことを糧に来年度はより高みを目指します。



決勝会場NHKホール前で撮影

第49回全国高等学校総合文化祭放送部門参加

7月30日・31日、小林史佳(32)がアナウンス部門に、長谷川美空



会場前で撮影(左が長谷川、右が小林)

(32)が朗読部門にそれぞれ参加しました。

両名とも緊張感のあるなか自分らしい「読み」をし、高校最後の大会を終えることができました。

アマチュア無線

第20回全国高等学校ARDF競技大会入賞

7月26日・27日に新潟県で開催された全国高等学校ARDF(アマチュア無線方向探知)競技大会に、アマチュア無線部の1～3年生計11名(3年生8名、2年生2名、1年生1名)が出場した。

ARDFは、地図とコンパス、無線機を用いて山中に設置された送信機を探し出す競技で、体力・知力・技術のすべてが求められる。

本校はスプリント競技で7位、クラシック競技で8位と、いずれも全国入賞を果たした。特に3年生にとってはこれが最後の大会であり、これまでの努力の成果を存分に発揮する場となった。

1・2年生にとっても、全国の舞台で得た経験は大きく、来年度以降のさらなる成長が期待される。

無線という分野を通じて、挑戦する楽しさと仲間との絆を深めた2日間であった。



水泳部

5年連続関東大会出場

埼玉県川口市において開催された令和7年度関東大会(7月)に出場した(個人男女各1名)。自由形800mに出場した女子3年は三年

連続での出場である。バタフライ100、200mに出場した男子1年は県予選大会上位進出による。中堅の2年生部員が在籍しない本年度であるが、五年連続の県外上位大会出場を果たし、新入生も5名が入部して学年のリレーを繋いでいる。プールのない本校であるが部員の日頃からの自己管理による鍛錬が活動を維持している。心身あわせての伸長を今後も期待したい。



吹奏楽部

第29回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト

3月28日に桐朋学園宗次ホール（東京都調布市）において開催された「第29回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト」にて、本校から出場した郡司柑太郎（クラリネット・現3年、当時2年）が高校生部門出場者28名の中から「審査員山本英助賞」に選出されました。こ

の賞は全国ベスト8に相当します。日頃のたゆまぬ練習の成果を発揮し、本人は「技術が向上しただけでなく、表現の幅や音楽に対する視野をものすごく広げることができました。」と語りました。



スキー個人

全日本ジュニアスキー選手権大会入賞

私はスキーモーグルの選手として活動しており、日々練習に取り組んでいます。技術を磨くのはもちろん、体力やメンタルの強化にも力を入れ、試合でベストを尽くせるよう努力しています。昨シーズンは、JOCジュニアオリンピックカップ2025全日本ジュニアスキー選手権大会のフリースタイル競技モーグル高校男子の部で第4位となり、2025/2026シーズンには強化指定選手に

も選ばれました。

学業との両立は簡単ではありませんが、友達や先生に質問したり、図書館などを活用したりと、充実した学習環境のおかげで良い学習ができています。また学校では書道部に所属しており、競技とは違った集中力を養えるのが魅力です。

至誠一貫の思いで、雪上での挑戦と学びの場での成長、そのどちらも欠かさず続けることで、自分らしさを磨きたいと思っています。これからも練習を重ね、大会で良い結果を出せるよう全力で頑張ります。

21組 菅野 直



高校生平和大使

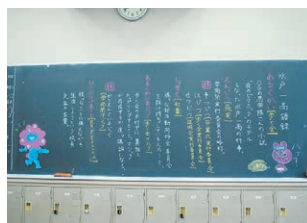
第28代高校生平和大使（24名）に高2の中垣美咲さんが選ばれました。被爆80年の長崎研修を経て、国連欧州本部へ派遣され、核兵器廃絶と平和な世界の実現を訴えていきます。詳細は次号で報告いたします。

学校説明会開催

8月1日に令和7年度学校説明会が開催され、事前応募の中学3年生430人が参加しました。説実（せつじつ・学校説明会実行委員会）の生徒たちが自分たちで企画し運営するもので、各クラス4人の担当制。各教室の黒板に自己紹介と一高のひとこと紹介が書かれ、それぞれ個性が表れています。9:30に開始され、終了は11:00。①教員による学校解説動画、②生徒が作った学校紹介動画（授業、行事、部活動、その他）と質疑応答&アンケート回収、③校内・部活動見学、が各30分ずつで1セット。数百人の生徒を数クラスに分け、校内見学が重ならないよう、手際良く誘導していきます。

委員会は、前年度3月から準備を開始。4月に幹部会議を招集、月1回程度の会議を重ねて、役割分担を

決めていくそう。毎年先輩たちの姿を見ながらブラッシュアップしていきます。「中学の時に来て楽しかったので、自分もやりたかった」。また、中学生に対しては「笑顔を忘れないこと、自分たちが水戸一高そのもののイメージだから、水戸一高に入りたいという雰囲気をつくることを大切にしたい」ということでした。「行事が生徒主体で、やりたいようにやらせてもらえること。特に委員会活動は自由度が高く、企画から運営までまかせてもらえる、そこが水戸一高でとてもすきなところ」と答えてくれました。



● パブリックリーダースクール ●

8月6日(水)、8月7日(木)の2日間、パブリックリーダースクールが本校の階段教室で行われました。パブリックリーダースクールは、社会的な課題解決や変革を第一線で担ってきたリーダーによる講義を通して、次世代のリーダーを育成するプログラムです。今年は、戦後80年という節目の年であり、「平和」をテーマに6日は漫画家の武田一義先生と元統合幕僚長の河野克俊先生、7日は日本赤十字社社長の清家篤先生と元公明党党首で、本校OBでもある山口那津男先生をお招きし、講義を行っていただきました。

武田一義先生は、1975年北海道生まれの漫画家で、2016年～2021年まで『ヤングアニマル』で連載された『ペリリュー ―楽園のゲルニカー』で2017年日本漫画家協会賞優秀賞を受賞した方です。この漫画の題材となった「ペリリュー島の戦い」は、太平洋戦争末期の1944年9月15日から約2ヵ月間、パラオ共和国のペリリュー島で繰り広げられた戦いで、米軍4万に対し、日本軍1万（その多くは帝国陸軍水戸第二連隊）で開戦し、最後まで生き残った日本兵はわずか34人という生存率わずか0.3%の極めて激しく、悲惨な戦いでした。現在も千を超える日本兵の遺骨が収容されず島に眠っているとされ、戦没者の中には水戸一高の先輩も含まれているとのことです。水戸市の護国神社では現在も毎年11月23日に慰霊祭が開催されています。講義は武田先生と御厩校長先生の対談形式で行われ、戦争の悲惨さと平和の尊さについて深く学ぶことができました。「一度戦争

が始まってしまうと簡単に終わることができない」という話は、現在のロシアとウクライナの戦争にも当てはまり、深く心に残りました。講義終了後はサイン会が行われ、直筆のイラスト入りサインをもらった生徒たちは大変感激していました。

河野克俊先生は、自衛官のトップである統合幕僚長を2014年～2019年の約5年間務めた方です。在任期間中には、北朝鮮による人工衛星(長距離弾道ミサイル)の発射など、日本の平和を脅かす危機に直面し、難しい判断を迫られる場面を冷静な判断と勇気ある決断で乗り越えてこられました。河野先生からは、「リーダーとして難しい判断を求められた時は常識を大切にすること」、「リーダーは仏頂面をしてはダメ、いつも上機嫌であること」、「リーダーとしての危機管理の考え方」などの心得を学ぶことができました。自衛隊という大きな組織をまとめられた経験に裏打ちされた言葉にはとても

説得力があり、生徒たちも熱心に聞き入っていました。

清家篤先生は、労働経済学を専門とする経済学者で、2009年～2017年の間、慶應義塾大学の塾長を務め、現在は日本赤十字社社長として活躍されている方です。高校時代のラグビー部でのエピソードや、将来何に役立つかわからずに学んでいたことが現在につながっているという話などをユーモアたっぷりにお話していただきました。今、目の前にあることを頑張ること、積極的に色々な経験を積むことが将来の選択肢を広げることがあることを理解することができました。特に、印象的だったのは、「赤十字では戦争が起こっている地域での支援活動を行っているが、核戦争になったらその地域に助けに行くこともできなくなる。核戦争は絶対に起こしてはならない」という言葉でした。平和について考える良い機会となりました。

※次ページに続く

武田一義先生



河野克俊先生



清家篤先生



山口那津男
先生



山口那津男先生は、7月に政界を引退したばかりですが、本校OB（昭46卒）として後輩たちのために、平和な世界にするために取り組んできた活動を話してくださいました。山口先生は、誰もがニュースで見聞きしたことがあるPKO協力法や平和安全法制、地雷除去など、日本や世界の平和を守る法律の制定に関わり、貢献されてきました。理想と現実のギャップを粘り強い対話を通して埋めていく中には、大変なご苦労があったことと思います。苦しい時には、水戸一高の歩く会で培った精神力が役に立ったという話もして

くださいました。講義を聞いた生徒たちからは、「自分の人生を胸張って話ができる生き方がかっこいいと思いました」という感想もありました。先生のこれまでの功績に深く敬意を表すると共に、貴重な講義をしてくださったことに心より感謝したいと思います。ありがとうございました。

今回のパブリックリーダースクールは、リーダーとしての在り方に加え、戦後80年という節目の年にふさわしい、平和についても考える良い機会となりました。

「イギリス在住の先輩を囲む会 ～多文化共生社会における自分探し～」 海外生活に必要なこととは？

7月14日、イギリス在住で、イギリスのイースト・アングリア大学准教授（日本語教育、翻訳学）である戸祭哲子（あきこ）さん（昭63卒）を招き、12名の高校1・2年生が参加しました。気軽な質疑応答形式の、和やかな雰囲気での会。戸祭さんからは、海外生活において大切なこととして、自分とは違う視点を持つこと、日本語で考えて言葉にすること（それを英語で表現する）、自分の好きなものを大切にすること等が話されました。生徒からは「普段見ることのない観点から生活を見つめることができた。今度、初めて海外に行くので、心の準備になった。」「海外に行くことで日本人とは何なのかを意識させられたと聞き、私自身も海外に飛び出して自分は何者なのかを考えたいと思った。」等の感想が寄せられました。リアルな声が聞ける、貴重な機会だったと思います。



地域・職域等知道会

知道会に御寄付をいただいております

◆昭和39年卒同窓会「ありがとう会」
今年は昭和100年、私たちは80歳、傘寿を迎えます。

私たちの同窓会名は39年卒＝サンキュウから取ったものです。

毎年1月2日に水戸京成ホテルで行っている同窓会も今回は「卒業60周年記念同窓会」として行いました。

5年ごとに発行している記念誌代と知道会への寄付を募った結果、今回は120名の同窓生から協力を得ることが出来、去る7月17日、第11代 白石直之会長と鶴田信晃副会長が栗原英則副会長にお会いし、寄付金の贈呈をさせていただきました。

知道会への寄付は、40周年の記念同窓会から5年毎に行い、今回をもって総額160万円になりました。

些少ではありますが、在校生の士気高揚資金として活用していただけたかなと思っております。

（記・小野邦夫）



◆このほかに、第74期におきましては7月末までに

- ・常陽知道会
- ・昭43卒学年同窓会
- ・昭46卒学年同窓会
- ・昭48卒学年同窓会（古希）
- ・平14卒学年同窓会

と、複数名の個人の方々から知道会に御寄付をいただいております。

改めて感謝を申し上げます。

財務委員会

令和7年度土浦水中一高会例会

7月5日、土浦水中一高会例会を開催いたしました。当日は知道会幹事長・河野秀幸様のご臨席も賜り、

地元または現在の住所地に近い地域知道会に入会することができます。
入会ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

参加者28名の和やかな交流の集いとなりました。恒例のミニ講演会では現土浦市教育長の入野浩美氏（昭54卒）より最近の教育事情についてお話をいただきました。懇談の中では竹田正男氏（昭45卒）による尺八演奏などの余興もあり、年に一度の例会にふさわしく楽しい時間があっという間に過ぎていきました。会の締めには応援団OBの指揮もと全員で校歌斉唱を行い、次年度での再会を誓い合いました。

毛塚裕之（昭60卒）



第74期 地域・職域活動状況 (令和6年10月1日～令和7年9月30日)

令和6年 10月27日 那珂知道会	令和7年 6月14日 常陽知道会
令和6年 11月30日 医水会	令和7年 6月17日 県庁知道会
令和6年 12月7日 西日本水中一高会 総会・講演会	令和7年 7月5日 土浦水中一高会
令和6年 12月14日 瓜連知道会	令和7年 7月6日 常陸太田知道会
令和6年 11月23日 昭和46年卒同窓会	令和7年 7月12日 城里知道会
令和7年 2月15日 東京知道会 「令和7年同窓の集い」	令和7年 7月12日 友部知道会
令和7年 3月15日 五軒知道会	令和7年 7月13日 石岡知道会
令和7年 4月13日 みつば知道会	令和7年 7月13日 岩間知道会
令和7年 1月2日 昭和39年卒同窓会	令和7年 7月19日 鹿行知道会
令和7年 3月4日 昭和34年卒同窓会	令和7年 7月26日 笠間知道会
令和7年 3月22日 令和5年卒学年同窓会	令和7年 8月30日 新莊知道会
令和7年 4月27日 昭和48年卒同窓会	令和7年 9月27日 昭和50年卒学年同窓会
令和7年 5月21日 昭和43年卒同窓会	
令和7年 5月31日 下市知道会	

音楽劇「夜のピクニック」3回目の上演が決定！

本校の伝統行事「歩く会」をモチーフに書かれた恩田陸さんの小説「夜のピクニック」を舞台化し、2016年、2020年と上演された音楽劇が来秋、水戸市民会館大ホールに場所を移し、装いも新たに3回目の上演を迎えます。知道会では今回も生徒観劇会の企画を含め協力の予定です。続報をお楽しみに！

上演は2026年10月下旬（予定）水戸市民会館グロービスホールにて
詳細については会員の集いで発表があります。
次号の知道会報にも掲載いたします。

第74期第54回代議員会

日時 令和7年5月17日（土）

場所 知道会館2階会議室

- (1) 第74期事業中間報告として、委員会活動と事業・地域・職域知道会の活動状況が河野幹事長から報告され、了承されました。
- (2) 第74期収支中間報告について、出澤財務委員長から報告され、了承されました。
- (3) 140周年記念事業経過報告ならびに収支報告について、河野幹事長より報告され、了承されました。
- (4) 150周年事業について、記念事業内容の検討、今後のスケジュール予定について、河野幹事長より報告がされ、了承されました。

年会費の納入は、スマホ決済もできます

コンビニエンスストアでの払込票に、スマホ決済用のバーコードが追加されています。PayPay、LINE Pay、au PAY、PayB を利用している方は、アプリを起動し、払込票下部のバーコードを読み込み、ご自宅ですべてコンビニ支払を完了することができます。

預金口座振替もできます。現在、「口座振替キャンペーン」として口座振替の手続きをして頂いた方を対象に、クオ・カード（1,000円）を進呈しております。

詳しくは事務局（029-226-3960月・水・金）にお問い合わせください。



井内義興副会長 ご逝去

西日本水中一高会会長で知道会副会長の井内義興さん(昭33卒)が令和7年6月17日に逝去されました。井内さんは平成29年12月に西日本水中一高会の会長就任に合わせて知道会の副会長に就任され、以降8年にわたりお務めいただきました。在任中は母校の様子を気遣い、お住まいの奈良から時折事務局に電話を下さるなど、母校や後輩たちへの強い思いに溢れたお方でありました。謹んで会員の皆様にお知らせしますとともに、ご冥福を心からお祈り申し上げます。

物 故 者 (R 6. 8 ~ R 7. 8 迄にご連絡を頂いた方を掲載しました。)

昭19中 天野 昌久	昭27高 今関 輝保	昭33高 金子 義和	昭39高 鈴木 修
昭19中 大森 裕好	昭28高 小室 昭	昭33高 井内 義興	昭40高 富田 雅弘
昭20中⑤小泉 真吉	昭28高 飯島(雨谷)逸朗	昭33高 石井 英正	昭43高 横山 史郎
昭20中⑤山本 昭	昭28高 清水 寛	昭33高 鈴木 康弘	昭43高 萩野谷 透
昭20中⑤荘司 正明	昭28高 竹内 正夫	昭33高 綿引 武典	昭43高 谷田部俊明
昭22中 芝沼 永	昭29高 川上 清	昭34高 井坂 守夫	昭49高 羽成 一夫
昭22中 永井 裕	昭29高 山形 晴一	昭34高 松澤 輝征	昭58高 檜山 充
昭22中 向井 幸作	昭29高 増渕 義次	昭34高 山崎隆三郎	昭61高 神賀(関)由紀子
昭23中 菊池 節	昭29高 横須賀義一	昭34高 毛塚 英彦	平5高 石川 歩
昭23中 猿田 宣彦	昭30高 佐野(木村)尚子	昭35高 秋山 直通	
昭23中 本郷 智夫	昭30高 福田 公	昭35高 坂倉 弘國	
昭23中 江幡 泰行	昭30高 相沢 浩司	昭35高 渡辺 三雄	
昭24中 武川 康男	昭31高 金長 貞夫	昭36高 千勝 晃	
昭24高 芝沼 永	昭31高 黒澤 巖夫	昭36高 牧島 克男	
昭24高 本郷 智夫	昭31高 小林 純	昭36高 小林 剛一	
昭25高 樋口 英樹	昭31高 須藤 孝一	昭37高 小泉 廣志	
昭25高 桐原 直行	昭31高 中原 英雄	昭37高 丹下 量夫	
昭26高 本多 忠夫	昭31高 桧山 義人	昭37高 赤津 慶昭	
昭26高 梅沢 康信	昭31高 加藤木久雄	昭37高 山崎 誠	
昭27高 北条 稔	昭31高 根本 紘一	昭37高 田上 修	
昭27高 田所 稔朗	昭32高 渡邊 和彦	昭39高 大和田克美	

お知らせ ■ 校門管理について

安全管理を強化する観点から、朝の登校時間や特別な行事日以外は、校門を閉じた状態にしておくこととしました。学校関係者や文化財見学者など、正当な理由があって来校された方は、ご自身で門を開け、後に人や車両が続いていない時は、通過後に必ず門を閉めてくださいますよう、ご協力をお願いします。

なお、校門近辺を含め、防犯カメラを校内に複数設置しておりますので、あわせてご承知おきください。

ホームページから登録内容の変更手続きができます！

◎会員情報変更フォーム <https://chidokai.jp/desk/r-form/>
 その他お問い合わせ chidokai_mito@chidokai.jp



事務局

月・水・金(祝祭日を除く)
 10:00~15:00
 来局の際は、事前にご連絡
 をお願い致します。



学校基本データ

学校創立 1878年(明治11年)10月2日
 令和7年 創立147年
 同窓会員数 40,402名
 住所判明者数 23,240名
 在籍生徒数 高校 728名(男子419名 女子309名)
 中学 239名(男子120名 女子119名)
 (令和7年4月現在)